

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和3年度～令和7年度）
研究開発課題名	新規医薬品モダリティおよび送達技術開発の迅速化を可能にするPET イメージング [※] /薬物動態解析プラットフォームの構築
代表機関名	岡山大学
研究開発代表者名	佐々木 崇了

総合評価：良い

【評価コメント】

本研究は、当初計画を順調に進捗させるとともに、薬物シーズ及びDDS の体内動態を「時間・空間・機能」の観点から統合的かつ定量的に理解する研究へと発展させた点が評価できる。また、課題間連携において、シーズ開発研究者、DDS 研究者及び薬物動態研究者による三者連携体制を構築し、PET 解析情報を DDS 設計やシーズ開発戦略へフィードバックし、シーズ開発の研究推進に貢献した。

今後は、本研究成果をさらに発展させ、実用化・社会実装へと展開していくことを期待する。あわせて、アウトリーチ活動を通じた産学連携の拡大や共同研究、技術導出の促進が加速されることを望む。

以上